

### 寄贈図書リスト

科学者18人にお尋ねします。宇宙には、だれかいますか？、佐藤勝彦 監修、縣秀彦 編集、224頁、1,500円＋税、河出書房新社

超巨大ブラックホールに迫る～「はるか」が創った3万kmの瞳～、平林久、A5判、176頁、1,500円＋税、新日本出版社

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

### 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

### 東京大学宇宙線研究所准教授

1. 准教授1名
2. (1) 高エネルギー宇宙線研究部門  
(2) 千葉県柏市
3. CTA国際共同研究において、大口径チェレンコフ望遠鏡の建設、観測を主導的に進め、高エネルギーガンマ線による宇宙線物理学、高エネルギー宇宙物理学、宇宙素粒子物理学を積極的に展開できる方を求めます。
5. (1) 決定以降できるだけ早期  
(2) 任期3年。着任後3年目に入る前にCTAプロジェクトに対する貢献等に基づき再任評価を行い、さらに3年間の延長を可能とする。
6. なし
7. 応募者は以下(1)から(5)までの書類を、e-mailに添付（電子ファイル）で提出してください。応募書類のファイル形式はpdfとします。e-mailによる提出に対しては、受信した旨の返信をしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。  
(1) 履歴書

- (2) 研究歴（A4判で3頁以内）
- (3) 業績リスト（論文リスト、研究発表リスト等）、および主要論文別刷（5編以内）。  
提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにすること。

(4) 着任可能時期

(5) 着任後の研究計画（A4判で3頁以内）

8. 平成29年5月8日(月) 17時必着
9. 提出先および問合せ先：  
東京大学宇宙線研究所総務係  
e-mail: [application\\_at\\_icrr.u-tokyo.ac.jp](mailto:application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp)（メールを送信する際は\_at\_を@に直してください）
10. 応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。
11. 選考：選考委員会による書類選考の後、面接を受けていただくことを原則とします。面接を受けていただく方には詳細を連絡します。  
その他：「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。必ず  
<http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/2017/03/06160112.html>をご確認ください。

### 東京大学宇宙線研究所助教

1. 助教1名
2. (1) 附属重力波観測研究施設  
(2) 岐阜県飛騨市神岡町
3. 4. 大型低温重力波望遠鏡KAGRAプロジェクトにおいて、KAGRAの入出射光学系や制御装置など重要な部分の建設・調整に責任をもってあたり、装置完成後はKAGRAを共同利用施設として運用し、重力波のサイエンスの推進に貢献できる

方を求めます。

5. (1) 決定後なるべく早い時期  
(2) 任期5年。着任後3年間をテニュアトラック期間とし、3年が経過した時点でテニュア着任の審査を行い、審査で認められれば任期なしに移行します。
6. 雇用の時点で博士号を取得しているか、確実に取得できる見込みの者。
7. 応募者は以下(1)から(5)までの書類を、e-mailに添付(電子ファイル)で提出してください。(6)の意見書・推薦書は、作成者から直接e-mailに添付で応募締切日までに提出してください。応募書類・意見書・推薦書のファイル形式はpdfとします。e-mailによる提出に対しては、受信した旨の返信をしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。
  - (1) 履歴書
  - (2) 研究歴(A4判で3頁以内)
  - (3) 業績リスト(論文リスト、研究発表リスト等)、および主要論文別刷(5編以内)。提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにすること。
  - (4) 着任可能時期
  - (5) 着任後の研究計画(A4判で3頁以内)
  - (6) 意見書または推薦書2通
8. 平成29年5月8日(月)17時必着。
9. 提出先および問合せ先、  
東京大学宇宙線研究所総務係  
e-mail: application\_at\_icrr.u-tokyo.ac.jp(メールを送信する際は\_at\_を@に直してください)
10. 応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。
11. 予算: テニュアトラック期間は、研究予算100万円/年のスタートアップ支援をします。  
選考: 選考委員会による書類選考の後、面接を受けていただくことを原則とします。面接を受けていただく方には詳細を連絡します。  
その他: 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。

## 国立天文台チリ観測所教授

1. 教授1名
2. (1) 国立天文台チリ観測所  
(2) 当面は東京都三鷹市、将来的にはチリ・サントティアゴ勤務もありえます。

3. 電波天文学
4. 本教授の公募では、電波天文観測に関する深い見識に基づき、東アジアALMA支援センターの科学運用マネージャーとして、プロジェクトマネージャーを支え、以下の業務を主導できる方を求めます。

- ・ALMA科学運用計画の確立を含むALMAの性能の維持と向上
- ・東アジアの参加国・地域との連携を通じた、東アジア地域におけるALMA科学運用の牽引と調整
- ・充実した利用者支援計画の立案と改訂、そして着実な実施
- ・欧米チリの科学運用マネージャーとの密な連携と、そのなかでの日本の存在感の向上
- ・プロジェクトサイエンティストとの協力によるALMAとそれ以外の望遠鏡(ASTE望遠鏡や45m電波望遠鏡など)との連携観測の推進およびALMAを中心としたサイエンスプロモーション。

これらの職務と並行して、ALMAを用いた自身の科学研究を推進するとともに、若手研究スタッフへの研究上の助言もしていただきます。その結果として、国際計画であるALMAの中での日本のプレゼンスを上げることに貢献していただきます。Face-to-face会議やビデオ会議、電話会議等での科学的・技術的議論ができる英語力は必須です。将来的には合同ALMA観測所(JAO)においてマネジメント的な職種に就くことも期待します。

5. (1) 決定後なるべく早い時期  
(2) なし(定年65歳)。
6. 関連分野で博士の学位を有するか、またはそれと同等とみなせる方
7. 以下の書類(英文)をpdfファイルとし、電子メールに添付して送付してください。(1)カバーレター、(2)履歴書(研究歴も含める: 個人としての研究業績のほかに、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は本人の果たした業績を具体的に記入してください)、(3)研究論文リスト(査読論文とそれを区別し、共著の場合は本人の役割分担を記すこと)、(4)主要論文3編のpdfコピー、(5)職務に対する抱負と計画、(6)できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先(e-mailアドレス、電話番号)、(7)reference letter 2通以上(応募者からの書類に含めず、letterを依頼した方から直接9.(1)の提出先に応募締切までに届くよ

う依頼してください).

8. 2017年5月31日(水) 17時(日本時間) 必着
9. (1) apply-agma-prof20170531@nao.ac.jp  
e-mailの件名欄に“Application for professor of NAOJ Chile Observatory”と明記してください.
- (2) 国立天文台チリ観測所長 阪本成一  
e-mail: sakamoto.seiichi@nao.ac.jp  
e-mailの件名欄に“Question on professor of NAOJ Chile Observatory”と明記してください.
10. ・すべての応募書類(上記7.の(1)-(7))はそれぞれpdfファイルに変換し、メールに添付すること.  
・pdfファイル作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにしてください(メール1通最大10MB程度まで).  
・郵送や直接持参による応募は受け付けません.  
・応募書類は本件の選考以外のいかなる目的にも使用しません.  
・応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします. それが届かない場合には、apply-agma-prof20170531@nao.ac.jpへお問い合わせください.
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します. 詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokkyodo/>をご覧ください.

## 賞の推薦

### 第8回(平成29年度)「日本学術振興会育志賞」受賞候補者の推薦依頼

日本天文学会からの推薦にて応募を希望される方は、①~③の手続きをお願いいたします.

①以下の提出書類をデータで学会事務長宛て(jimucho@asj.or.jp)にお送りください.

(今年度から推薦は電子申請となりました.)

- ・日本学術振興会 育志賞推薦書「@推薦理由」
- ・推薦理由書A・B
- ・研究の概要等

②天文学会推薦の場合の応募締切

- ・2017年5月19日(金)

③日本学術振興会育志賞の概要、応募資格などの詳細は下記URLを参照下さるようお願いいたします.

<http://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>

## 訃報

1996年5月~2000年12月まで事務長を務められた原寿男氏は2016年7月20日にご逝去されました. 満86歳でした. ご冥福をお祈りいたします.

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と) **vol198**(5文字)の計10文字を入力してください. 「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○-▲」の○○○○○の部分です. ○○○○○は各号共通の数字です.

青木和光(編集長), 上野悟, 大栗真宗, 奥村真一郎, 富永望, 萩原喜昭, 馬場彩, 平松正顕, 町田正博, 諸隈智貴, 吉田二美

平成29年4月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359(事務所)/0422-31-5488(月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます.

©公益社団法人日本天文学会2017年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)